

インフルエンザ・コロナワクチン接種状況調査 喉元過ぎれば・・なのか、そもそも喉元過ぎたのか!?

～平川会長がアンケート結果を基に記者会見(都医師会)で報告～

12月10日東京都医師会の定期記者会見で、東京都老健協会の平川会長が、直近の会員施設対象のワクチン接種状況調査を基に、高齢者施設では新型コロナウイルス感染症に対する危機感を持続する必要があると強調しました。(アンケート結果の概要は以下)

インフルエンザワクチンは回答施設の99%・コロナは81%で実施

12月9日までに会員施設対象に実施した東京都内老健施設でのインフルエンザワクチンおよび新型コロナワクチンの接種状況調査の結果がまとまりました。調査対象は東京都老健協会と全老健東京都支部の会員184施設で、91施設(49.5%)から回答がありました。〔入所者〕に対するワクチン接種状況は、インフルエンザワクチンは回答施設の99%、コロナワクチンは81%が実施(予定含む)していました。

〔職員〕に対するワクチン接種状況はインフルエンザワクチンが回答施設の82%、コロナワクチンは40%の施設で実施(予定含む)していることが分かりました。

入所者の7割以上希望はインフルエンザ50%・コロナは9%

また、〔入所者：ショートステイ除く〕の内、ワクチン接種を希望している割合は、インフルエンザワクチンは7割以上と回答した施設が約50%あり、6割以上では全体の75%でした。コロナワクチンは入所者の7割以上が希望した施設は9パーセントで、6割以上でも30%に留まっていることが分かりました。

全職員に実施はインフルエンザ51%・コロナは実施しないが52%

さらに〔職員〕のワクチン接種では、インフルエンザワクチンは、ほぼ全職員を対象にしている施設が51%あり、希望者のみの施設も47%ありましたが、実施しないと回答した施設は2%でした。これに対し、コロナワクチンの職員への接種については、実施しない施設が52%あり、希望者のみに接種すると回答した施設は48%でした。コロナワクチンの接種を実施しない理由として①安全性が心配15% ②体制不足が35%で、その他(50%)としてワクチン接種費用や事務手続き等の煩雑さを挙げる声が寄せられました。12/10 東京都医師会定期記者会見で平川会長が使用したアンケート結果および感染状況等の資料は会員施設にメールで配信します。